

臨床研究「東北労災病院における栄養サポートチーム（NST）活動の有用性と課題についての後ろ向き観察研究」についての情報公開

本施設で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

なお、情報が当該研究に用いられることについて、研究の対象となる方(あるいは代理人の方)にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。

研究課題名	東北労災病院における NST 活動の有用性と課題についての後ろ向き観察研究
研究責任者氏名	高橋 賢一
研究機関長名	東北労災病院院長 井樋栄二
研究期間	2025 年 9 月（研究機関の長の研究実施許可日以降） ～2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	研究対象者登録期間：2022 年 1 月 1 日～2025 年 8 月 31 日まで
	上記期間中に東北労災病院に入院し、かつ栄養サポートチーム（NST）による回診や栄養サポートなどの治療介入を受けた患者さん。
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	栄養サポートチーム（NST）は、医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、薬剤師など、多職種が協力し、栄養管理を行う医療チームです。NST 活動により、患者の栄養状態が改善し、栄養療法の合併症が減少し、患者の入院期間が短縮し、医療費が節約できるなどの効果が報告されています。 東北労災病院では 2008 年より NST が稼動し、活動を継続してきました。NST の基本的な流れとしては、適切な入院時栄養スクリーニングにより栄養リスクのある患者を抽出し、抽出された患者について主治医や担当看護師からの依頼を受けて、NST が介入を行うコンサルテーション型の運用を行っています。これまで毎年、延べ 1000 例前後の患者さんに NST 介入を行ってきましたが、必要な栄養投与量と栄養の組成を決定し、経口や経腸、経静脈など、適切な栄養投与法を提案することで、栄養状態の改善と日常生活動作（ADL）の向上をサポートし、予後の向上、社会復帰を図ることをその使命として活動を行って왔습니다。その結果、栄養状態や ADL の改善が得られて、NST 介入が終了となる患者さんが多くいらっしゃいました。が、その一方で、食思不振の改善や摂取意欲の向上が見られなかったり、経腸や経静脈の栄養サポートを行うも栄養状態が不変のまま、あるいは悪化するなどして、ADL の改善もみられないままに介入が終了となることもありました。NST 活動において、こうした患者さんにどのように取り組むべきかが大きな課題となっています。

	そこで、東北労災病院における NST 介入前後での対象患者の栄養改善効果や ADL 改善効果と、各患者の栄養スクリーニング結果および年齢・性別や基礎疾患など背景因子との関連を検討し、NST 介入効果の得られやすい患者群と、逆に NST 介入効果の得られにくく特別な配慮が必要となる患者群を明らかにすることを目的として、本臨床研究を計画しました。
研究の方法	本研究は、東北労災病院単施設の、後ろ向き観察研究(横断調査)の形で行われます。 1) 主要評価項目 NST 介入前後での栄養指標 血清アルブミン値改善効果の背景因子ごとの差異について検討を行います。なお背景因子としては、栄養スクリーニングの結果、GLIM 基準による低栄養診断の結果と重症度、年齢・性別、基礎疾患等を用いる予定です。 2) 副次的評価項目 NST 介入前後での血清アルブミン値以外の栄養指標の改善効果の背景因子ごとの差異について検討を行います。また、NST 介入前後での ADL 改善効果の背景因子ごとの差異についても検討を行います。さらに、背景因子ごとの患者さんの転帰の差異についても検討を行います。なお、転帰としては NST 専任管理栄養士の主観による改善、不変、悪化の判定と、NST 介入終了時の患者の行き先である、自宅退院、施設への退院、療養型病床への転院、入院継続、死亡退院等を用います。 3) 研究対象者の情報(診療情報など)については、NST 回診の記録および診療録から適宜入手しつつ研究を遂行します。 なお、データの集積と解析は、研究責任者の所属施設である東北労災病院大腸肛門外科にて行います。
外部への試料・情報の提供	今回の研究では、外部への情報の提供を行うことはありません。
研究組織	研究責任者: 高橋賢一 東北労災病院 大腸肛門外科第一部長、栄養管理部長 研究分担者: 友廣美里(東北労災病院 栄養管理室 主任栄養士) 大場美都希(東北労災病院 栄養管理室 栄養士) 羽根田 祥(東北労災病院 大腸肛門外科第二部長)
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。この研究にご自身の情報を使用してほしい方は当科の意思にお伝えください。研究にご協力いただき

	けない場合でも皆様の不利益につながることはありません。またこの研究に参加することで得られる利益ありません。ご不明な点があればお問い合わせください。
本研究に関する 連絡先	(診療科名) 東北労災病院 大腸肛門外科 (実務責任者) 高橋賢一 [電話] 022-275-1111 (平日 9～17 時)